

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率（％）

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

	国 語	算 数	理 科
全 国	6 6 . 8	5 8 . 0	5 7 . 1
福島県	6 5	5 5	5 6
南相馬市	6 1	5 6	5 2

南相馬市立高平小学校 全国学力・学習状況調査分析

- 1 実施日 令和7年 4月17日（木）本体調査
- 2 調査対象 第6学年児童（18名）
- 3 調査内容 （1）教科に関する調査（国語・算数・理科）  
（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査
- 4 調査結果
  - （1）教科に関する調査
    - ・国語科においては全国平均正答率を上回りました。その要因としては特に落ち込んでいた領域がなく、また、国語科に関する学力の個人差が大きいことが挙げられます。
    - ・算数科においては全国平均正答率を上回りました。領域別に見ると「数と計算」の領域が全体的に良く理解できていました。一方で「データの処理」に領域において定着が不十分な内容がありました。
    - ・理科においては全国平均正答率を上回りました。領域別に見ると「地球」「生命」「粒子」の領域が良く理解できていましたが、「エネルギー」の領域に理解が不十分な内容がありました。
  - （2）児童・生徒質問調査
    - ・「規則正しい生活」や「自己肯定感」「社会貢献」に関する項目が高い結果となりました。一方で「ICT機器を活用した自主学習」や「新聞を読むこと」に関する項目が低い結果となりました
- 5 学力向上の取り組み
  - ・身に付けさせる資質・能力を明確にし、子ども達に対して学びの必要感を持たせた上で授業を展開することで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。また、「まとめと振り返り」の場と時間を十分に確保することで、本時の学びによって何に気づいたのか、どのように考えが深まったのかを確認する経験を積ませることにより自己成長を実感できる場の工夫をしていきます。

- ・理科で学ぶ知識や考え方は、日常生活をより安全で豊かにするために役立っていることを実感しながら理解させるために、学習内容と日常生活とのつながりについて意識した授業づくりを目指します

## 6 保護者（や地域）の皆様へ

- ・家庭学習については、本校で配付している家庭学習の手引きを活用し、学年に見合った家庭学習時間の確保をするとともに、タブレット等を活用した学習方法・学習習慣の確立を図っていきますようご指導をお願いいたします。その際には、南相馬市教育委員会より配付されました「子どもたちの家庭での過ごし方」をご覧ください、学校と家庭が連携し、子どもに寄り添いながら一人一人の力を伸ばしていけるようご協力をお願いいたします。
- ・読書については、学校司書と連携して読み聞かせやブックトーク等を通して下学年から多様な種類の本に触れさせることで、興味関心を高めさせていきます。また、親子読書週間や多読賞の紹介等を通して読書に対する意欲を高めさせると共に、知識や教養、語彙力の発達や想像力、集中力、情緒面の成長を図っていきます。
- ・家庭・地域社会との連携としては、今年度も本校PTA行事と高平生涯学習センター主催の地域行事を共同開催とすることで、子ども達に豊かな体験活動の場を提供し、体験活動の充実を図ります。